

新時代オフィス ともものいわと

# 智の岩戸

T O M O N O I W A T O





それはほんものの  
岩戸だった







天照国照彦火明命  
男神アマテル







速日の峰

## 智の岩戸

～祀神～

大日靈尊(天照皇太神)

天照国照彦天火明櫛玉饒速日命(男神アマテル)

瀬織津姫(アマテラス荒魂/日向大明神)

～大祓神～

速開都比売(はやあきつひめ)

伊戸吹主(いどぶきぬし)

速さすら姫(はやさすらひめ)

～八幡社～

品陀別命(ほんだわけのみこと)

日下神族先祖・日御子(ひみこ)/息長帯姫命(おきながたらしひめのみこと)

比売神/玉依姫命(たまよりひめのみこと)

伊邪那美命(いざなみのみこと)

素戔鳴尊(すさのおのみこと)

稲田姫命(いなだひめのみこと)

事解男命(ことさかおのみこと)

速玉男命(はやたまおのみこと)

磐長姫命(いわながひめのみこと)

猿田彦命(さるたひこのみこと)

菅原道真公(すがわらみちざねこう)

倉稲魂命(うかのみたまのみこと)

市杵島姫命(いちきしまひめのみこと)

武内宿禰命(たけうちすくねのみこと)

八大龍王(はちだいらいゅうおう)

～統一神～

イザヤ昇典



こうもり磐屋





## ～由緒～

宮崎県は古代よりさまざまな信仰や魂にかかわりの深い由緒を持つ  
パワースポットのメッカでございます。

そうしたなか、最も日本人が大切にしてきた  
日本本来の信仰や生き方など現代では忘れ去られて  
しまった多くの文化を再発見し

先祖や日々の生活に感謝をして今までにない新しい価値観を見つめなおして  
時代をつくってゆくそういう日向の新しい精神文化の発信拠点になれば  
との願いを込めて創立しました。土地は古代海族(天皇家以前の天孫族)が  
最も最初に日向の地に

上陸した(日置浜)とされる高鍋町児湯の土地にひっそりと隠れてたたずんでおり  
郷土に埋没し隠された日本神話を再び全国に発信してゆくための調査研究  
全国のメディア様との連携による情報発信も大規模に行っております。

イメージキャラクターでありアイコン的な"ともくん"とみんなの触れ合いの中で  
もう一度新しい心を見つめなおしてゆく  
そういうきっかけを皆さんに提供してゆく  
働きを行ってゆけたらと本事務所を研究機関として立ち上げられました。

## ～智の岩戸(ともものいわと)の名前の由来～

智という名前のもつ性質、(奇御霊)クシミタマより真実の情報と叡智

天岩戸伝説がある日向の地にふさわしい  
新しい情報の提供、心の岩戸発信基地

になれたらという想いを込めてつけられております。

祀神の瀬織津姫は日向の本来の名前の親である日向大明神。

アマテルは日本古来の天照として夫婦神で信仰されております。

天の岩戸神社の大日靈尊は夫婦そろった

天照皇太神の真の神格といえるでしょう。

また皇道発祥の裏歴史のある神門(ミカド神社)から浦島太郎上陸の  
海族の渡来伝説に多くの物語が息づく木城の岩戸地区、考古学界を騒がせた  
卑弥呼の鏡など精神文化の拠点として非常に文化的、  
歴史的価値のある新しいパワースポットオフィスとして

飛躍してゆく可能性に満ちた  
なにかがひめられているといえます。





# 神一族

(日の下/うさか)



(卑弥呼)は日御子(アマテラス)のモデル

福知山と高鍋町(現在西宮市の辰馬博物館所蔵)で景初4年の日御子(ひみこ)の神獸鏡が出土する

この二つの土地は日下部王族(古代邪馬台国)の本拠地であった。鏡は幻の年代の

ものであり、“後ろの正面”を象徴する

ものである。京都亀岡城と日向舞鶴城

がそろうことで“鶴と亀が統べる”

それが淡路島は神戸(神の戸)、鳴門海峡(渦)

に集約されてゆき、それらは西都市の

瀬織津姫の本拠地である速川(大祓の聖地)～

速開都比売神社(大渦の極点)へと直結。

真の天の岩戸は鍋蓋をされた高鍋町

(本来の財部町)だが、その語源は同名の

鹿児島(かごめ=籠島)県財部町の財日奉部と

いう太陽信仰の聖地のことであり、岩戸開き

の神天照皇太神の本当の名前でもある撞賢木巖之御魂天疎向津媛命

(つきさかきいつのみたまあまさかるむかつひめのみこと)が地名の由来である。(瀬織津姫の別称)

兵庫県西宮市と高鍋町は繋がっており西宮に神功皇后(日御子と同一人物)が戦勝記念に

瀬織津姫を祀ったことが始まりであり、この廣田～西宮神社の付近に所蔵された高鍋町の幻の日御子の鏡は

日御子が死亡する前後に作成された謎の物であり、アマテラスのモデルといわれた巫女である

道教を奉じた彼女の死後大和朝廷が成立していることから(アマテラスのモデルである日御子が滅ぼされ

のちの渡来した神武率いる皇室がそれを自らの伝説として語り継ぐようになった偽の岩戸開きと

日御子の系統が復活するアマテラス家(日御子)たちの真の天の岩戸開き)を証明する

これは非常に重要な決定的真実だといえる。また、この日下部の末裔がのちに尾張族らとなり

日本最古の家系として家系図を残し国宝となっている。



籠目紋



福知山元伊勢皇大神社



伊勢神宮

神明神社

石神(海女の町)

兵庫県西宮市～淡路島(おのころ島)

瀬織津姫の封印地六甲山

廣田神社



神戸は天の岩戸



しょうめん

## ～真の天の岩戸開き～

邪馬台国と初期天皇家

(ニギハヤヒノミコト一族)

であったともいわれる美郷町神門

(ミカド)神社のテイカ王とスサノ

ヲ(木城の皇子である福智王)と

大年神(ニギハヤヒ)の王妃鴨野の

大年神社(高鍋町)の浜下りはスサ

ノヲとニギハヤヒ(アマテラス)の

“後ろの正面”を表す。蚊口浜は浦島太郎上陸

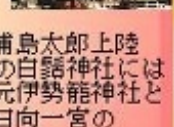
伝説があり小丸川をわたった川南の白鬚神社には

浦島大神を祀る。のちの妻神社と元伊勢籠神社と

なった日下部王家の聖地である。日向一宮の

都農神社と矢研の滝にもニギハヤヒが

天孫降臨した伝説が語り継がれている。



八十八か所がある持田古墳

より卑弥呼の鏡が出土



高鍋町

世界に二つのみの鏡の存在は天帝を出現させる

鬼の道(鬼道)をつくるパイプラインとなっている

浦島太郎上陸

(日置浜の妻大明神)









天の若戸開き

天照國照彦  
天照少明命

天の磐船







# 瀬織津姫

速川の瀬に坐す瀬織津比賣と言ふ神 大海原に持ち出てなむ  
比く持ち出て往なば 荒潮の潮の八百道の八潮道の潮の八百會に坐す  
速開都比賣と言ふ神 持ち加加呑みてむ



# 天照皇太神

撞賢木蔽之御魂天疎向津媛命

つきさかきいつのみたまあまさかあるむかつひめのみこと







スサノヲを祀る  
福智王(うしろの)



オカミ(竜宮神社)  
十一面観音

高城島津藩  
九州最大の  
関ヶ原

スサノヲ／ニギハヤヒが後ろの正面になる

(スサノヲ/ニギハヤヒ)直境

智の岩戸



八十八か所  
日御子の鏡



立花神社  
(ニニギ/高千穂の峰へワープ)



水波女神(瀬織津姫)

お  
ま  
る  
川



(正面)ニギハヤヒ  
(大年神)母鴨野

浦島(日下部)上陸地→白鬚神社  
本拠地西部へ

新しい精神の時代の岩戸を開くために

開館されたばしょ

それがともものいわとです。

所在地 高鍋町大字上江163-7

連絡先 090-5932-6864

代表者 日下部智史





